

第12回宇宙開発委員会（定例会議）議事次第

1. 日 時 昭和47年8月30日(木)
午後3時～5時
2. 場 所 宇宙開発委員会会議室
3. 議 題
 - (1) 昭和48年度における宇宙開発関係経費の見積り方針について
 - (2) 宇宙開発委員会計画部会報告について
 - (3) 長期ビジョン懇談会審議経過報告について
4. 資 料
 - 委12-1 前回議事要旨
 - 委12-2 昭和48年度における宇宙開発関係経費の見積り方針案
 - 委12-3 宇宙開発委員会計画部会報告
 - 委12-4 長期ビジョン懇談会審議経過報告

1. 日 時 昭和47年7月21日(金)
午後2時～4時
2. 場 所 宇宙開発委員会会議室
3. 議 題 (1) 宇宙開発計画の見直しに関する審議について
(2) その他
4. 資 料
委11-1 前回議事要旨
委11-2 宇宙開発計画の見直しに関する審議について
5. 出席者

宇宙開発委員会委員

〃

〃

山 県 昌 夫

網 島 毅

八 藤 東 禧

関係省庁職員等

科学技術庁研究調整局長

文部省大学学術局審議官

通商産業省重工業局重工業課

気象庁次長

〃 総務部長

〃 気象研究所長

千 葉 博

犬 丸 直

(代理:鈴木)

北 村 昌 敏

(代理:伊藤)

山 本 守

石 原 明

(代理:渡辺和夫)

中村)

今 井 一 郎

郵政省電波監理局審議官

高 田 静 雄

(代理:林)

宇宙開発事業団システム計画部

高 木

事務局

科学技術庁研究調整局宇宙企画課長

松 元

守 他

6. 議事要旨

- (1) 第10回宇宙開発委員会(定例会議)議事要旨について
第10回宇宙開発委員会(定例会議)議事要旨が確認された。

- (2) 宇宙開発計画の見直しに関する審議について

「宇宙開発計画の見直しに関する審議について(案)」について、以下の質疑応答ののち、宇宙開発計画の見直しに関する重要事項であることに鑑み、委員長の了承を得たうえで決定とすることとされた。

山県: 宇宙開発計画の見直しを8月中に終わるというのは予算編成との関係か。

事務局: そのとおりである。しかし、前回の改定の際、決定が10月になつた例もあり、8月中に委員会の決定が得られない場合は、この時に準じた措置をとることも必要であろう。

網島: 来年度予算に直接関係するのは、気象衛星の開発についての問題であるので、気象衛星についてだけでも委員会決定もしくは内定を8月中に行なうことを検討してもよいのではないか。

八藤：航行衛星については研究計画を検討するわけであるが国際計画樹立への動きは早当速いとの観測もあり、部会における審議にあたつては柔軟な対応が必要であろう。

事務局：航行衛星については、関係機関の要望にあわせて、研究段階の検討を行なうこととしたものであり、海外の動向に留意しつつ部会において審議を進めていただきたいと考えている。

山県：一応各委員の了解を得たように思うが、本件は、宇宙開発計画の見直しに関する重要問題でもあり、委員長の了承を得て正式決定としたい。

昭和48年度における宇宙開発関係経費の 見直し方針案

昭和47年8月30日
宇宙開発委員会

昭和48年度における宇宙開発関係経費の見直しは、現在、宇宙開発計画の見直しを進めているので、とりあえず、下記の方針に基づいて行なうこととする。

なお、放送衛星および通信衛星に関するものは別に定める。

記

1. 宇宙開発計画（昭和45年度決定）のうち、Mロケットについては、M-4SCロケットに替えてM-3Cロケットの開発を行ない、科学衛星については、第4号科学衛星の観測項目を宇宙X線に重点をおいて一部変更する。これ以外については、同計画を推進する。
2. 地球大気開発計画（GARP）に参加協力するため、静止気象衛星の開発を行なう。また、将来の気象衛星の観測機能の向上を目的として搭載機器の研究を進める。